

クボタ浄化槽用脱臭機MJ型

取扱説明書

型式

MJ-H051

このたびは、脱臭機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本脱臭機を末永くご使用いただくためにも、この取扱説明書をよく
お読みのうえご使用ください。取扱説明書本文に出てくる警告表示の部分は
脱臭機を使用する前に注意深く読み、よく理解してください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。

1. 安全に正しく作業していただくために …… (2)
 絵表示（用語と表示）の説明
 特にご注意していただきたいこと
2. 仕様 …… (3)
3. 施工について …… (4)
4. 開梱・設置について …… (5)
5. 維持管理について …… (6)
6. 運転再開時の保守・点検作業について …… (7)
7. 故障・原因とその処置 …… (7)
8. ブロワ風量 60ℓ/分以外の浄化槽をお使いの場合は
 …………… (8, 9)
9. 保証について・保証書…………… (10)

クボタ浄化槽システム株式会社

この説明書および製品には、安全に正しく作業していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示（用語と表示）の説明



警告

誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。



注意

誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

特に注意していただきたいこと

脱臭機の故障や事故を防ぐために必ず守ってください。脱臭機の設置工事・維持管理は専門業者が実施することをお勧めいたします。



警告

感電・発火事故防止

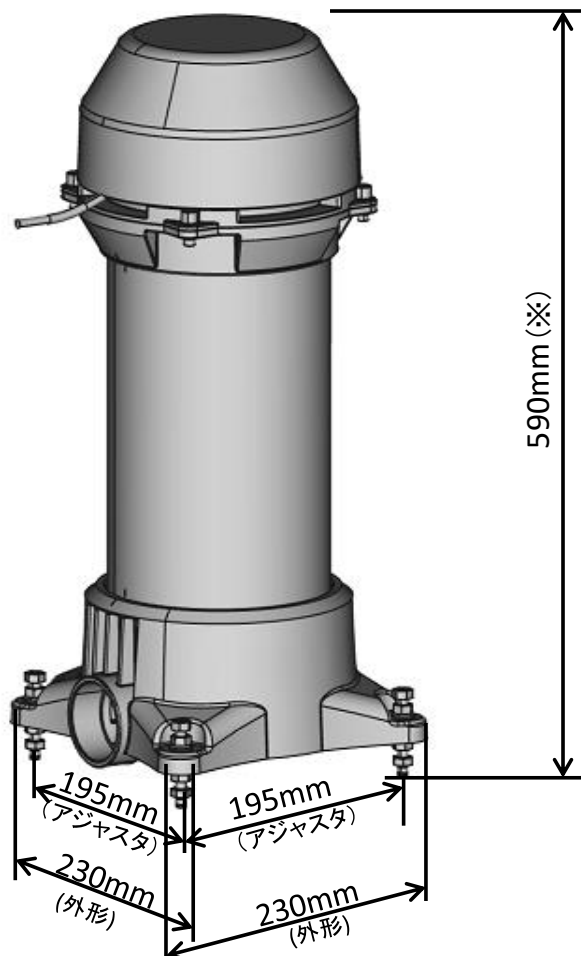
- ① D種接地工事(アース工事)の必要はありません。
- ② 脱臭機が浸水したり、雪に埋もれたりする場所には設置しないでください。
- ③ 脱臭機の電源は、防水型コンセントをご使用ください。
- ④ 電源は漏電遮断器・過電流遮断器の設置されたAC100Vをご使用ください。
- ⑤ 電気工事は必ず専門の工事業者が行ってください。
- ⑥ 脱臭機近く(50cm以内)には、ものを置かないでください。
- ⑦ 電源コードの上には、ものを置かないでください。
- ⑧ 脱臭機を分解する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ⑨ 脱臭機の点検などで外したカバー類は必ず取り付けてください。
これらの行為を怠ると、感電事故や火災が生じるおそれがあります。
- ⑩ 分解・修理は、必ず軍手等を使用してください。
けがなどのおそれがあります。

定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz 兼用
消費電力	2W
外形寸法	幅 230mm 奥行 230mm 高さ 590mm(※)
製品重量	7.3kg (フィルター・脱臭剤①②充填時)
吸気口径	Φ60mm (VU50相当)
ブロウ風量	60ℓ/分用
臭いの上限濃度	硫化水素 4ppm、アンモニア 2ppm
標準付属品	フィルター、脱臭剤①(注1)、脱臭剤②(注2)、取扱説明書

(注1) 脱臭剤①は、硫黄化合物(硫化水素など)を吸着し除去します。

(注2) 脱臭剤②は、アンモニアを吸着・分解し除去します。

脱臭機外形



※出荷時の高さです。

高さはアジャスタを調整することで最大605mmまで延ばすことができます。

脱臭機の設置場所の選定・据付工事

脱臭機の設置にあたり

- ・本脱臭機は、主に浄化槽の臭突管から発生する硫化水素とアンモニアの臭気ガスの除去を対象としています。それ以外の臭気ガスが発生する場合、除去できませんのでご注意ください。また、臭気濃度が特に高い場合は除去しきれない場合がありますので、浄化槽の状態も含めてご注意ください。
- ・開梱・設置は専門工事業者が実施することをお勧めいたします。

脱臭機の設置場所の選定

- ・脱臭機の吸引配管は浄化槽の臭突管から配管してください。流入管から行った場合、排気効率が低下します。
- ・配管は長さ2m以下を目安に曲がり部は3曲がり以内としてください。
- ・配管は塩ビ管VU50を使用し、脱臭機に向かって上り勾配に配管し、湿気が溜まらないようにしてください。
- ・配管はユニオン継手等で取り外し出来るようにしてください。
- ・浄化槽の近くに設置してください。
- ・維持管理しやすいところに設置してください。
- ・建物から30cm以上離してください。
- ・直射日光をさけ通気の良い場所に設置してください。
- ・枯れ葉やゴミが吹きだまる場所には設置しないでください。
- ・脱臭機が浸水したり、雪に埋もれたりしないようにしてください。また、湿気や水気の多い場所に設置しないでください。
- ・マンホールの上や柔らかい地面には置かないでください。

脱臭機の据付工事

- ・据付部は脱臭機の重量に耐えるものとしてください。
- ・据付部は脱臭機の外寸より5cm以上大きくしてください。
- ・脱臭機のアジャスタを調整して水平に置いてください。

電気配線工事

- ・電気工事は必ず専門の工事業者が行ってください。
- ・脱臭機専用の電源コンセントを設置してください。
- ・コンセントは防水型を使用してください。
- ・電源は漏電遮断器・過電流遮断器の設置されたAC100Vを使用してください。
- ・脱臭機の電源プラグを専用の防水型コンセントにがたつきが無いようにしっかり差し込んでください。不完全な接続では感電や火災が生じる恐れがあります。
- ・アース工事は不要です。

脱臭機のフィルタ装着・脱臭剤充填

- ・運転開始前に脱臭機に付属のフィルターを装着し、脱臭剤①②を充填します。
- ・装着・充填手順は6ページの「維持管理について」を参照してください。

運転開始時の確認項目

- ・(運転開始前)浄化槽内の水位および配管のバルブが適正か。
- ・脱臭機までの配管接続部から空気漏れがないか。
- ・運転音の異常が無いか。
- ・無理な配管のため浄化槽の配管に不要な力がかかっていないか。

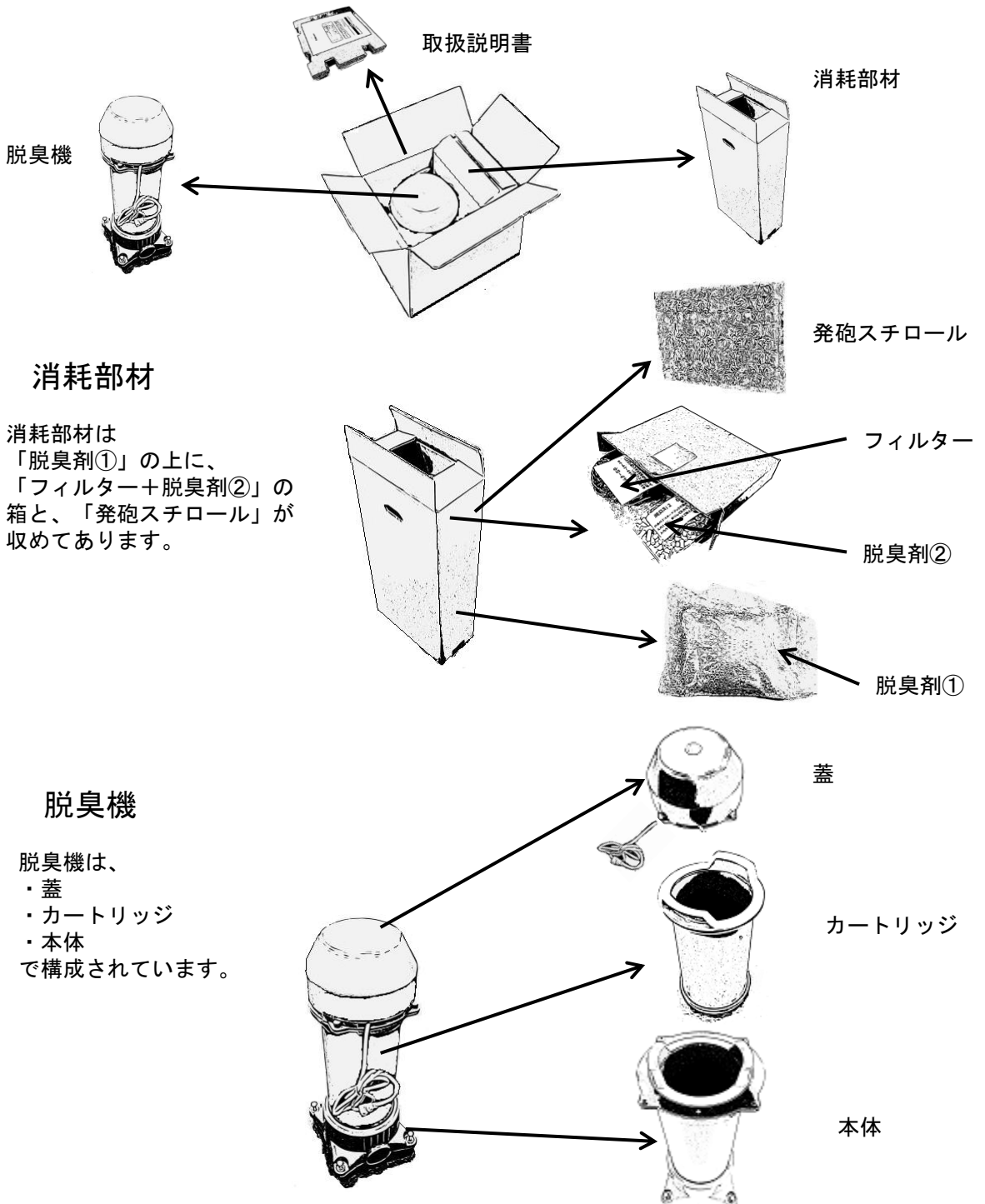
4

開梱・設置について

開梱・設置は専門工事業者が実施することをお勧めいたします。

開梱

開梱して、脱臭機、消耗部材、取扱説明書を取り出します。



設置

フィルター装着、脱臭剤①、脱臭剤②の充填は6ページの【5. 維持管理】の内容を参照してください。設置は、4ページの【3. 施工について】の内容を参照してください。

5 維持管理について(フィルター、脱臭剤①②の充填・交換)

充填および交換は維持管理業者が実施することをお勧めいたします。

必ず2ページの【1. 安全に正しく作業していただくために】を読んでください。

脱臭機は、浄化槽から排出される臭気解消のために浄化槽の空気を適正量吸気・排出しています。適切にフィルター・脱臭剤の充填・交換がなされないと、次第に脱臭機の性能が低下します。

脱臭機の性能を十分に発揮させるためには、定期的なメンテナンスと消耗部材の交換が必要です。下記項目を定期的の実施し、ご使用いただくようお願いします。

- ・消耗部材セット (フィルター 脱臭剤① 脱臭剤②) ご注文品番: MJ-H051C01
脱臭効果が低下した場合、消耗部材を交換してください。
- ・使用工具: 六角棒レンチ M5 (対辺寸法4mm)



フィルター、脱臭剤①、脱臭剤②は消耗品です。これらの交換を怠ると、脱臭機の性能を低下させる原因になります。

作業の際は、必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。また、軍手を着用し風通しの良い場所で行ってください。

消耗部材

フィルター

脱臭剤①

脱臭剤②



分解・組立

分解

ボルトをはずして蓋を取りはずす。



組立

ボルトを締め付け蓋を取り付ける。



カートリッジを脱臭機本体から取り出す。



カートリッジを脱臭機本体に収める。



消耗部材を交換する。(右図)

消耗部材交換

カートリッジに充填されているフィルターと脱臭剤①②を取り出し、カートリッジ内部のごみを取除く。



※使用後のフィルターは燃えないゴミで、脱臭剤①②は浄化槽汚泥と一緒に処分ください。

フィルター周囲とカートリッジとの間に隙間が出来ないようにフィルターを装着する。



脱臭剤①(茶色)を充填し、上部を平らにならす。



脱臭剤②(白色)を充填し、上部を平らにならす。



※脱臭剤①②を混ぜないでください。必ず脱臭剤①(茶色)を充填の後、上に脱臭剤②(白色)を充填ください。

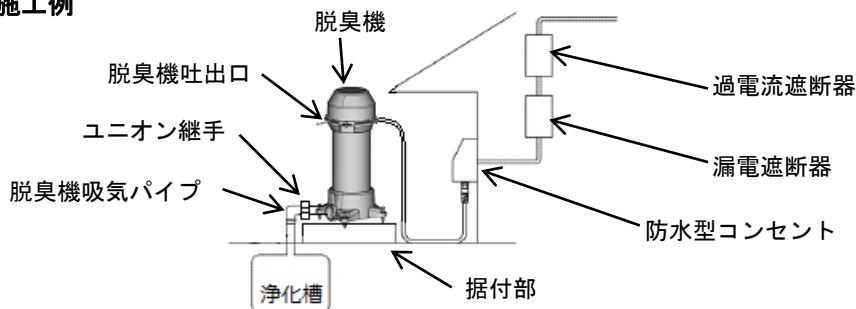
6

運転開始時の保守・点検作業について

必ず2ページの【1. 安全に正しく作業していただくために】を読んでください。

保守・点検作業事項	作業理由
□はずしたキャップ部およびカートリッジは必ず取り付けてください。	この注意を怠ると、感電事故や火災が生じるおそれがあります。また、脱臭性能が出ません。
□脱臭機は水平に置いてください。	振動が全体カバーを伝わり、音が大きくなる可能性があります。脱臭機の吐出側圧力が高くなり流量が低下したり、振動が伝わり音が大きくなる可能性があります。
□脱臭機近く（50cm以内）には、ものを置かないでください。 □電源コードの上には、ものを置かないでください。 □脱臭機の電源は、防水型コンセントをご使用ください。 □電源は漏電遮断器・過電流遮断器の設置されたAC100Vをご使用ください。	これらの注意を怠ると感電事故や火災が生じるおそれがあります。
□電源プラグを電源コンセントにがたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。	電源プラグの刃にほこりが付着して故障の原因になることがあります。
□吸気パイプの接続部から空気の漏れがないことを確認してください。	脱臭機の吐出側圧力が変動したり、故障の原因になることがあります。
□運転音に異常がないことを確認してください。	異常な運転音のまま使用していると故障の原因になることがあります。

工事施工例



7

故障・原因とその処置

必ず2ページの【1. 安全に正しく作業していただくために】を読んでください。

下表にある処置を施しても不具合が解消されない場合は、10ページの【9. 保証について】で記載の弊社営業窓口へお問い合わせください。

異常診断チェック表

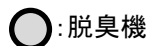
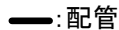
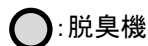
こんなとき	お調べください	処置
脱臭機が動かない	電源プラグが抜けていませんか？	確実に差し込んでください。
	漏電ブレーカが働いていませんか？（家屋側）	状況を確認しブレーカを入れてください。
音、振動が大きい	据付台と脱臭機との間にガタツキはありませんか？	脱臭機を置きなおしてください。
	脱臭機を傾けて使用していませんか？	脱臭機を水平に置きなおしてください。
	配管のはずれ、破損はありませんか？	配管を確認し、必要に応じ交換してください。

【注】脱臭機が浸水した場合は、電気絶縁の低下があるとともに、構成部品が全体的に劣化しています。この場合は、脱臭機の交換を行ってください。

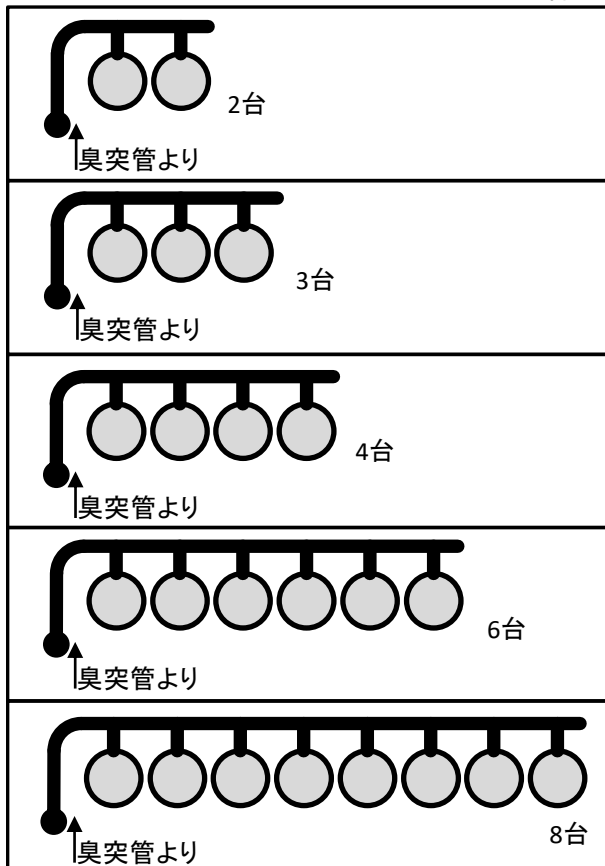
この脱臭機は、弊社浄化槽の型式 KZⅡ-5（ブロウ風量60ℓ／分）に適用しています。
既設の浄化槽で、ブロウ風量が60ℓ／分以外のお客様には、脱臭機の複数接続をお願い致します。
なお、弊社浄化槽の型式、使用するブロウ風量と脱臭機の設置台数、設置例は、下記のとおりです。
寸法等の詳細は9ページをご参考ください。

浄化槽型式	ブロウ風量 (ℓ／分)	脱臭機の設置台数					
		1台	2台	3台	4台	6台	8台
KZⅡ-5	60	○					
KZⅡ-7	80		○				
KZⅡ-10	120		○				
HCZ-12、HCZ-14	100		○				
HCZ-15、HCZ-16 HCZ-18、HCZ-20 HCZ-21	150			○			
HCZ-25、HCZ-28 HCZ-30	200				○		
HCZ-32、HCZ-35	250					○	
HCZ-40、HCZ-42 HCZ-45	300					○	
HCZ-50	350						○

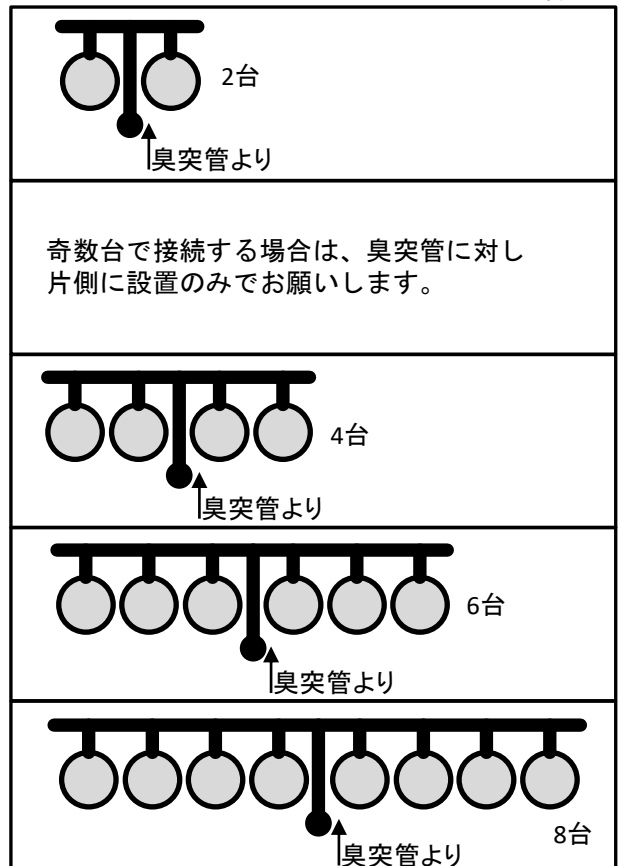
設置例



臭突管に対し片側に配置



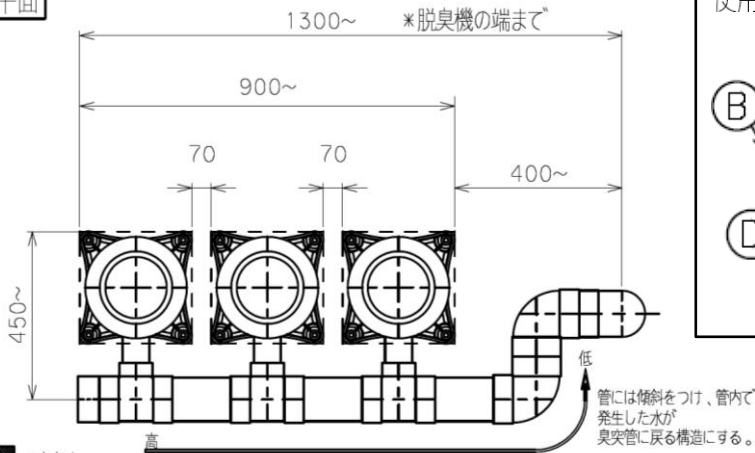
臭突管に対し両側に配置



下図は、脱臭機を3台接続した配管図例です。下記寸法値を目安に接続を行ってください。

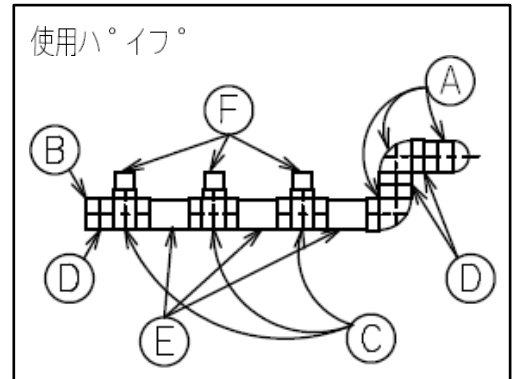
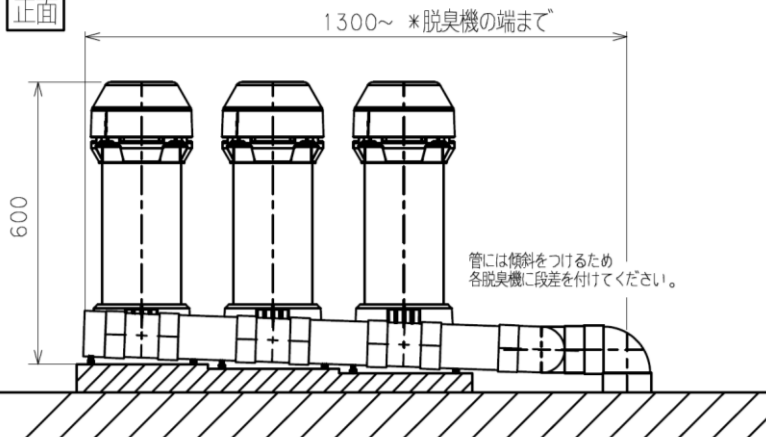
配管時の寸法

平面



壁側

正面



No.	品名	呼び径	数量	No.	品名	呼び径	長さ	数量
A	エルボ°	VU75	3個	D	ハーフ°	VU75	50mm~(はめ込め代含む)	3個
B	キャップ°	VU75	1個	E	ハーフ°	VU75	200mm~(はめ込め代含む)	3個
C	異径チース°	VU75→50	3個	F	ハーフ°	VU50	200mm~(はめ込め代含む)	3個

- ・臭突管の管径がφ75の場合です。臭突管の径が違う場合はレジャーサー等で管径をφ75に変えてから接続してください。

注意

- ・脱臭機の取付は、臭突管をお願い致します。万が一、臭突管を設置していない場合は、取扱説明書10ページに記載の、弊社支店または営業所にお問い合わせ願います。
- ・浄化槽の運転状況次第では、脱臭機本来の性能を発揮しない場合があります。
- ・脱臭機を使用中、結露が脱臭機内に発生しますので、脱臭機に向かって上がり勾配に配管をしてください。
- ・臭突管より最も遠方の脱臭機の取付時、エルボは使用せず、ティーズ、パイプ、キャップを取付けて下さい。脱臭機の性能を発揮致しません。

- 保証期間は、お買い上げの日より1年間とします。
- 保証範囲は、「正常な使用状態」での故障とし、定期的に交換が必要な消耗部材（フィルター等）は対象外といたします。
- 部品の保有年限は生産中止後5年です。

クボタ浄化槽用脱臭機についての不明な点は、下記の営業窓口にお問い合わせ下さい。

クボタ浄化槽システム株式会社

営業所	住 所		TEL	FAX
本社営業部	〒661-8567	兵庫県尼崎市浜1-1-1	06(6470)5301	06(6470)5302
東北支店	〒981-1221	宮城県名取市田高字原182-1	022(383)1697	022(383)1698
東京支店	〒103-0021	東京都中央区日本橋本石町3-3-10ダイワビル4F	03(3245)3708	03(3245)3720
広島営業所	〒730-0036	広島市中区袋町4-25明治安田生命広島ビル9F	082(546)0652	082(546)0672
九州支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3-2-8住友生命ビル5F	092(473)2540	092(473)2581
中部営業所	〒450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8大東海ビル3F	052(564)5121	052(564)5129
四国営業所	〒760-0050	高松市亀井町2-1朝日生命ビル6F	087(836)3916	087(836)3919
岡山営業所	〒710-0824	倉敷市白楽町409センタービル2F	086(430)5927	086(430)1950
南九州営業所	〒891-0114	鹿児島市小松原1-53-10	099(260)8710	099(260)8716
沖縄出張所	〒900-0016	沖縄県那覇市前島3-1-15大同生命那覇ビル6F	098(862)1600	092(473)2581

ホームページ〈URL〉

<https://www.kubota.co.jp/product/johkasou/>

作成：2020.09.18 第3版

クボタ浄化槽用脱臭機保証書

型式	製造番号		
お客様様	おところ		
	フリガナ		()
	おなまえ	電話	
お買上 年月日			
お買上店			

- (1) この製品は厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。お客様の「正常な使用状態」で万一故障した場合には、お買い上げの日より「1ヶ年間無償修理」をさせていただきます。
- (2) 修理は「お買い上げの販売店」「契約維持管理業者」またはクボタ浄化槽システム株式会社でいたしますので保証書をお示しの上ご依頼ください。
- (3) 次の場合は保証期間内でも「有償修理」といたします。
 - (イ) 誤ったご使用および不適当な取扱いや改造による故障。
 - (ロ) 施工上、維持管理の不備により生じた故障。
 - (ハ) 火災、地震、水害などの不可抗力および異常電圧などによる故障。
- (4) クボタ浄化槽用脱臭機は定期的に消耗部品の交換が必要です。維持管理業者が有償にて部品交換をさせていただきます。
- (5) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。
- (6) 本書にご記入していただいた住所などの情報は保証期間内のサービス活動及び維持管理のため以外には使用いたしません。

クボタ浄化槽システム株式会社

〒520-3211
滋賀県湖南市高松町2番地1
TEL.0748-75-2516(ダイヤルイン)